

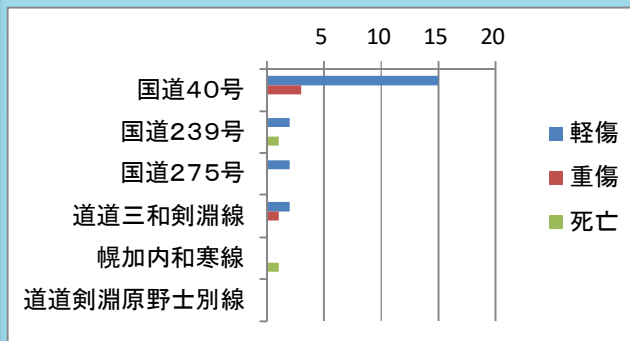
速度取締指針

士別警察署の速度取締りの重点

路線	時間帯	地域	規制速度
国道40号	10時～18時	市街地近郊	50Km/h
道道剣淵原野士別線	10時～18時	郊外	法定(60Km/h)

重点路線以外にも『主要な道道・市町村道、市街地交差点』も取締りを実施します。

士別警察署管内の交通事故実態等

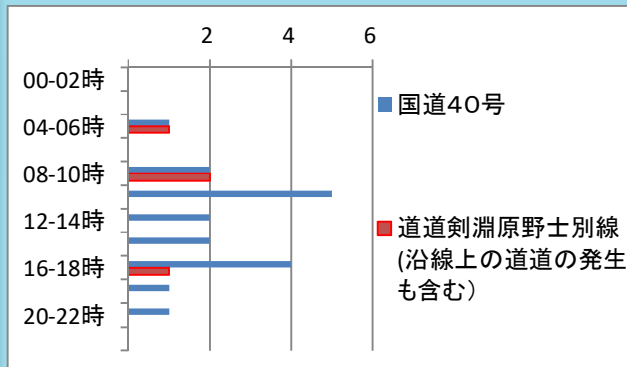


過去5年の冬期間(11～4月)の人身交通事故発生状況を、路線別に比較すると、国道40号が圧倒的に多いです。

11月～4月は、降雪期に入り、スリップによる追突事故・正面衝突が増加傾向にあります。

雪山等で交差点の見通しが悪くなり、出会い頭事故や右折時の事故が増加する傾向にあります。

過去に郊外部で正面衝突による重傷・死亡事故が発生しています。



過去5年の冬期間(11～4月)の重点路線における人身事故の発生状況を、時間帯別にみると、国道40号は、

8時から12時、16時から18時の通勤や買物等で交通量が増える時間帯に発生が多くなっています。

道道剣淵原野士別線などの郊外の路線は、

4時から10時、16時から18時の早朝・夜間の時間帯に発生しています。

～令和6年5月1日から10月31日までの交通事故発生状況～

- ◆ 5月～10月末までの間に、管内で281件の交通事故が発生しています。(駐車場、敷地内の事故を除く)
- ◆ 市内では、信号無視による事故や一時停止不停止による事故が多数発生しています。
- ◆ 郊外では、居眠り運転や脇見による正面衝突事故により、当事者が重傷を負う事故が発生しています。

その他の交通指導取締りの要点

冬型事故発生の抑止・事故発生時の被害軽減を図るため

『一時不停止違反、シートベルト装着義務違反』

の取締りを強化して実施します。

令和6年5月から10月まで速度違反取締りの取組状況

- 重点路線を中心に速度違反取締りを実施し、289件の速度違反を検挙しています。
- 速度違反の検挙件数は前年よりも大幅に増加しており、規制速度を30Km/h以上超過している違反は31件もありました。
- 5月から10月末までの人身交通事故の発生は11件で、前年より4件増加しています。